



もくじ

◇地域複合農業の展開を……………10
 ー県農業基本計画の見直しー

◇県産品を見直そう……………13

◇開港5周年に見る……………14
 ー熊本空港の現状と将来の展望ー

◇熊本県産業廃棄物処理計画概要……………16

◇熊本県の貿易……………24

部長登場 ー林務観光部長ー……………18

告知板……………26
 ・夏休みの非行防止
 ・食中毒と予防について
 ・子供を水の事故から守ろう

声……………28
 ・し尿浄化槽の維持管理について
 ・屋外広告物の規制について

火の国のあれこれ……………30
 ・名刀同田貫
 ・民話<騙された狐>

(この人と30分) 元大関栃光……………31
 千賀の浦親方

明日の熊本……私の提言……亀井 英夫……………34

わが町・わが村 ー(松橋町)ー……………23

施設紹介「母子休養ホーム」……………28

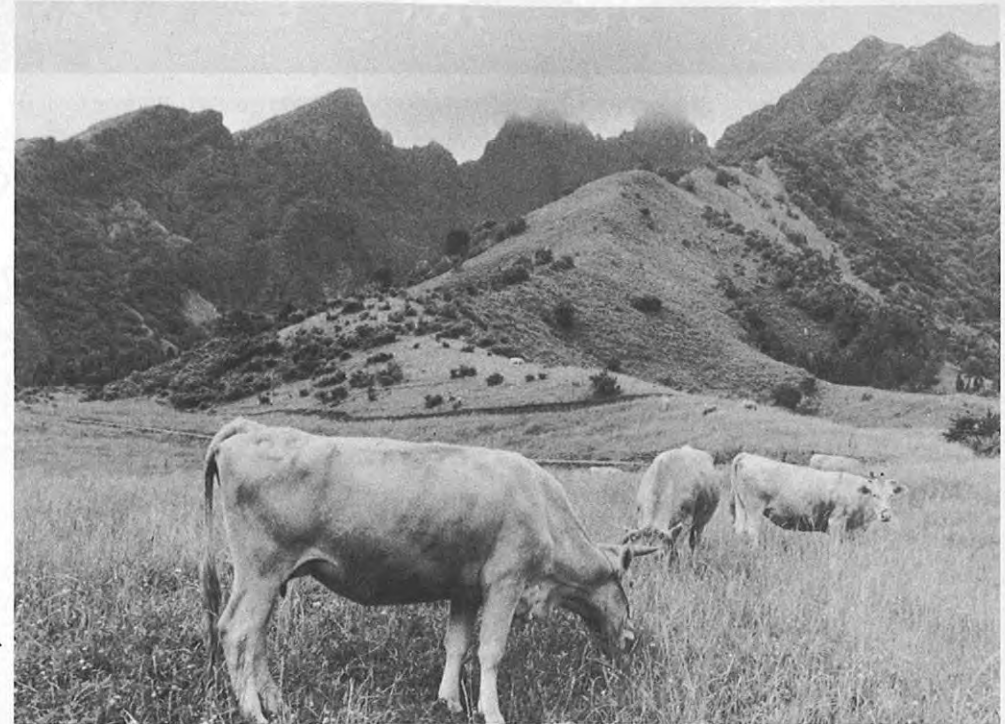
グ
ラ
ビ
ア
 ・文学の里(有明海干潟)……………3
 ・開発急ピッチ南阿蘇南郷谷……………4
 ・美しい熊本づくり……………19
 ・カラー熊本……………20
 ・明日に架ける橋……………35
 ・伝統文化を大切に……………36

随想……………8
 山田 啓代
 末松 正身
 佐藤 武之

表紙は「小岱焼」(県美術館所蔵)
 肥後と筑後の国境に近い小岱山の北麓で焼かれてきたもの、明和6年(1769)と天保7年(1836)の窯跡がある。作品は鉄分の多い粘りのある胎土に灰釉の流しぐすりをかけ、独得の色彩をかもし出している。

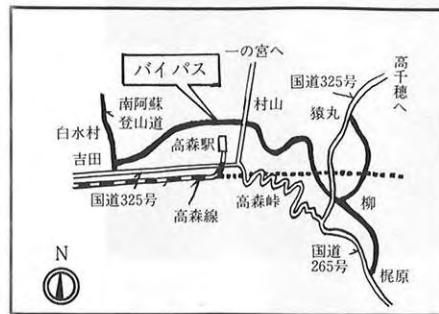
大規模畜産基地建設▶

高森町前原団地で草をはむ赤牛。この事業は阿蘇山を中心とする高原地帯の低利用、未利用の山林原野を草地に改良、肉用牛の共同利用牧場の建設をめざすもの。



▼高森峠バイパス工事

白水村吉田の南阿蘇登山道の接点から蘇陽町梶原までの6.3キロをトンネル10、橋梁1つでつなぐバイパス工事。完成後、時間は半分に短縮される。



(高森峠バイパス工事)

開発へ！胎動する南阿蘇

阿蘇谷に比べ10年の遅れがあると言われてきた南阿蘇ー南郷谷ー。そこに、いま、開発のための建設のツチ音が高々とこだましています。

「南阿蘇登山有料道路」は、去る7月1日、地元住民の観光・産業両面の期待を担って新ルートとして誕生しました。

99曲りで名高い高森峠の開発も急ピッチです。既に九州自然歩道の一部、「南外輪コース」八キロが開通、阿蘇五岳の展望のすばらしいコースとなっています。

高森峠のヘアピンカーブをバイパスで直線につなぐ「国道265号・325号線の合併工事」や宮崎の祖母傾国定公園と阿蘇国立公園を直結し、新観光圏形成にも大きな役割を果たす「国鉄高千穂線高森ー高千穂間の延長工事」も進行しています。

同じく高森町の根子岳のふもとでは、広大な原野を利用して「国民休暇村」の建設がすすめられています。これは宿泊施設、遊歩道、野営場などを備えた一大レジャーセンターで、完成のあかつきには、南阿蘇有料道路、国鉄高千穂ー高森間延長、さらには、九州自然歩道を結ぶ、南阿蘇観光の拠点としての性格を持つものです。

久木野村の南外輪のふもとには90億円の巨費を投じ、老人のための総合施設である「大規模年金保養基地」の建設が本決りとなっています。

また、阿蘇山麓の高原地帯を我が国の食糧供給基地とするための大規模な畜産基地建設も阿蘇南部基地から着工しました。

南阿蘇は、いま、地元住民の大きな期待に応えるために、新しく生まれ変わろうとしています。